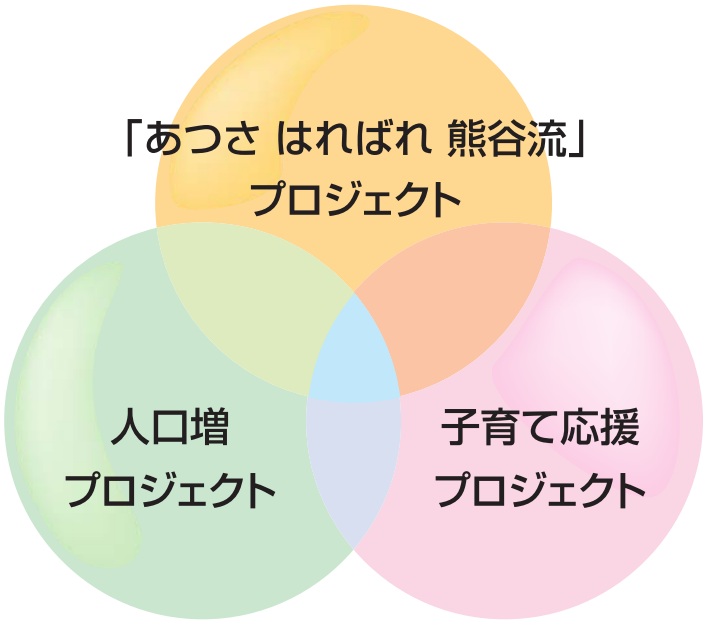
第10章　リーディング・プロジェクト

将来都市像「川と川　環境共生都市　熊谷」を実現するため、特に重要性と先導性の高い横断的な政策として、リーディング・プロジェクトを位置づけました。

リーディング・プロジェクトは、市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応できるよう、適宜見直すこととします。

まずは、「あつさ　はればれ　熊谷流」プロジェクト、「子育て応援」プロジェクト及び「人口増」プロジェクトの3つのプロジェクトを位置付け、積極的に事業展開を図ります。

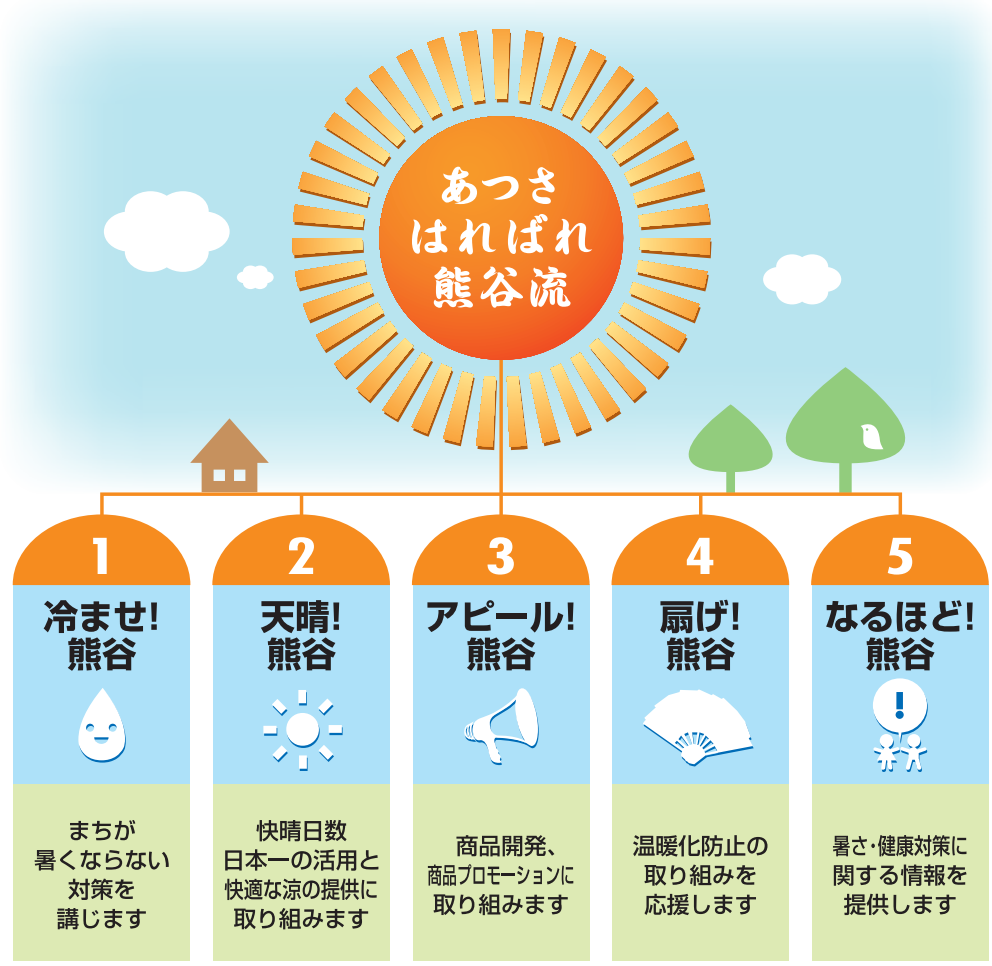


リーディング・プロジェクト 1

「あつさ はればれ 熊谷流」
（あっぱれ！熊谷流）
プロジェクト

夏の暑さを、人やまちの活力に変えていこうという「あついぞ！熊谷」の取組みが広く認知される中、平成19年8月16日には日本最高気温40.9度を記録しました。

また、本市は、快晴日数でも日本一であることから、それらのイメージを生かしつつヒートアイランド対策推進宣言都市として、熊谷流の「環境共生型ヒートアイランド対策」に取り組みます。



主な事業

- 打ち水と花いっぱい事業
- 冷却ミスト事業
- 商品開発事業
- 産学連携事業
- 見守り注意報事業

リーディング・プロジェクト2

"子育てするなら熊谷市" 子育て応援プロジェクト

昔から「子は親の鏡」「子は鎹（かすがい）」と言われるように、子どもは社会の宝とされてきました。しかしながら、社会構造の変化や結婚･出産に対する意識の変化により、「少子化」が進んでいます。また、「三つ子の魂百まで」と言われているように、子どもの成長に合わせた教育環境や支援体制の充実も欠かせません。

このため市民が安心して子どもを生み、育てられる環境を整えるため、福祉･医療･教育からなる包括的な支援を行い、子育てを応援します。

主な事業

- 不妊治療費助成事業
- こども医療費給付事業
- ブックスタート事業
- 放課後児童対策事業
- 特別支援教育補助員派遣事業
- ノーマライゼーション教育推進事業



わくわく親子教室の様子



リーディング・プロジェクト3

人口増プロジェクト

本市は、県北地域の拠点都市として発展し、合併により地域唯一の20万都市となりました。一方、少子高齢社会の進行により将来人口は減少すると見込まれ、その流れは本市にも忍び寄っています。

しかしながら、魅力的で活力ある地域には、人が集まります。

本市がこれからも県北地域最大の都市として輝き続けるため、人口増プロジェクトを展開します。



主な事業

- 「あつさ はればれ 熊谷流」プロジェクト
- 子育て応援プロジェクト
- 企業誘致の促進
- 中心市街地活性化基本計画の作成
- 市街地整備事業の推進